

エクスポートデータ説明書

運動機能分析装置 BM-220

アプリVer.2以降向け

zaRitz



も く じ

データの出力方法	2
手動エクスポート	2
自動エクスポート	3
以前のバージョンのアプリで測定した結果の出力	3
出力内容	3
LF ファイル	3
MC ファイル	5
Both ファイル	13
UserInfo ファイル	13

運動機能分析装置 zaRitz (ザリッツ)では、測定結果とメンバーデータを専用アプリケーションソフトから出力することができます。このエクスポートデータ説明書では、データの出力方法やその内容について説明しています。

株式会社タニタ

〒174-8630 東京都板橋区前野町 1-14-2

データの出力方法

ザリッツでは、測定結果とメンバーデータを、専用アプリケーションソフト(アプリ)からCSVあるいはエクセルファイルにて出力することができます。アプリの「メンバー」→「データ管理」→「手動エクスポート」あるいは「自動エクスポート」から行ってください。

手動エクスポート

手動エクスポートでは、保存先(施設/店舗名)とフォーマット(CSV、エクセルファイル)を指定して、データを出力できます。

フォルダー名は「Data○○○_yyyyMMdd」です。○○○は選択した保存先ID※、yyyyMMddは出力した年月日(yyyy年MM月dd日)を表します。出力したフォルダーの中には「LFDate」「LFUser」「MCDate」「MCUser」の4つのフォルダーが作成され、それぞれにアプリで指定したフォーマットでデータが保存されます。また測定データに加えてメンバーデータ(ファイル名：UserInfo○○○)も出力されます。

※保存先ID：保存先を作成したときに自動で割り当てられる3桁の番号です。

[LFDate]

運動機能の測定結果が測定日ごとに CSV かエクセルファイルで保存されます。

ファイル名：LF○○○yyyyMMdd (○○○：保存先 ID、yyyyMMdd：測定された年月日)

*例「LF00120240901」→ 保存先 ID が"001"で、2024年9月1日に測定した運動機能測定結果です。

[LFUser]

運動機能の測定結果がメンバーごとに CSV かエクセルファイルで保存されます。

ファイル名：LF○○○XXXXXX△△△△△△ (○○○：保存先 ID、XXXXXX：ユニーク ID、△△△△△△：ID)

*例「LF123456789abcdef」→ 保存先 ID が"123"、ユニーク ID が"456789"、ID が"abcdef"の方の運動機能測定結果です。

[MCDate]

体組成の測定結果が測定日ごとに CSV かエクセルファイルで保存されます。

ファイル名：MC○○○yyyyMMdd (○○○：保存先 ID、yyyyMMdd：測定された年月日)

*例「MC00120240901」→ 保存先 ID が"001"で、2024年9月1日に測定した体組成測定結果です。

[MCUser]

体組成の測定結果がメンバーごとに CSV かエクセルファイルで保存されます。

ファイル名：MC○○○XXXXXX△△△△△△ (○○○：保存先 ID、XXXXXX：ユニーク ID、△△△△△△：ID)

*例「MC123456789abcdef」→ 保存先 ID が"123"、ユニーク ID が"456789"、ID が"abcdef"の方の体組成測定結果です。

自動エクスポート

主に外部システムとの連携時に使用する機能です。アプリで設定した出力先に、CSV ファイルが測定直後に都度出力されます。測定した内容に応じたファイルが出力されます。

*変更、フォルダーの内容の一覧表示、読み取り、書き込みの権限がないフォルダーの場合、正常に出力されません。必ず正常に動作するか、事前にテストをしてください。

[Both]

運動機能と体組成を組み合わせた総合測定時に出力されます。

[LF]

運動機能単体測定時に出力されます。

[MC]

体組成単体測定時に出力されます。

ファイル名：Both/LF/MC○○○△△△△△△_yyyyMMddmmssfff

(○○○：保存先 ID、△△△△△△：ID、yyyyMMddmmssfff：測定年月日時分秒ミリ秒)

*例「MC001000001_20240807111600000」→ 保存先 ID が“001”、メンバーID が“000001”、“2024 年 8 月 7 日 11 時 16 分”に測定した体組成測定結果です。なお体組成単体測定時には ssfff は 00000 となります。

以前のバージョンのアプリで測定した結果の出力

Ver.1.7.3以前のアプリでは、Fat % (体脂肪率)、F/w (筋力)、RFD/w (素早さ)、BP tScore (安定性)の評価方法*が異なります。Ver.1.7.3以前のアプリで測定したデータをVer.2以降で出力した場合は、Ver.2以降の評価方法で計算したスコアが出力されます。

※例えば筋力は、Ver.1.7.3以前では1～5の5段階評価ですが、Ver.2以降では1～20の20段階評価に変更されています。

出力内容

[LF ファイル] (手動エクスポート時の LFDate/LFUser フォルダー内のファイル、自動エクスポート時の LF ファイル)

運動機能に関する測定項目が出力されます。

ヘッダー名	項目名	項目の意味	出力内容
UID	ユニーク ID	新規登録時に自動で割り振られる ID	-
ID	メンバーID	登録されている ID	-
Name	氏名	登録されている氏名	-
Body Type	体型	登録されている体型	スタンダード：S アスリート：A
Gender	性別	登録されている性別	男性：M 女性：F
Birthday	生年月日	登録されている生年月日	yyyy/MM/dd
Age	年齢	登録されている年齢	1 歳単位
Height	身長	登録されている身長	0.1 cm 単位
Clothes weight	着衣量	設定した着衣量	0.1 kg 単位

MC MODEL	体組成計品番	体組成測定に使用した体組成計の品番	-
MC DateTime	体組成測定日時	体組成測定を行った日時	-
BMI	体格指数	運動機能分析装置で測定した体重(kg)/身長(m) ²	0.1 単位
BM Model	運動機能分析装置品番	運動機能分析装置の品番	-
BM DateTime	運動機能測定日時	運動機能測定を行った日時	-
BM Weight	運動機能分析装置体重	運動機能分析装置で測定したからだの重さ	0.1 kg 単位
LF Point ^{※1}	体力得点 ^{※2}	体組成と運動機能より体力レベルを評価し点数化	1~150 点
MF Point ^{※3}	運動機能得点	筋力、素早さ、安定性より運動機能レベルを評価し点数化	1~150 点
MP tScore	筋力と素早さの偏差値	筋力と素早さより算出した偏差値(T スコア)	0.1 単位
MP zScore	筋力と素早さの Z スコア	筋力と素早さより算出した Z スコア	0.001 単位
BP tScore	安定性 ^{※4}	安定時間と左右動揺の Z スコアの符号を逆にしたうえで算出した偏差値(T スコア)	0.1 単位
BP zScore	安定時間と左右動揺の Z スコア	安定時間と左右動揺より算出した Z スコア * 安定時間と左右動揺は小さい値の方が良好な結果であるため、これらから算出した Z スコアも負の値の方が良好と判断される	0.001 単位
F/w	筋力 ^{※5}	立ち上がり時の最大荷重を体重で除した値で、どれだけ強い力で踏み込んで立つことができたかを表す	0.01 kgf/kg 単位
RFD/w	素早さ ^{※6}	単位時間当たりの荷重増加量を体重で除した値で、どれだけ素早く立ち上がったかを示す(筋力発揮率や RFD とも呼ばれる指標)	0.1 kgf/s/kg 単位
Stable Time	安定時間	立ち上がり動作が安定するまでの時間	0.001 秒単位
Vx	左右方向変動値	立ち上がり動作中の左右方向への重心移動速度を絶対値で算出	0.001 mm/s 単位
Vw	荷重変動値	立ち上がり動作中の鉛直方向への荷重移動速度を絶対値で算出	0.001 kg/s 単位
Vx/Vw	左右動揺	Vx を Vw で除した値で、立ち上がり動作中の左右動揺の指標	0.001 単位
LF Point score	体力得点スコア	体力得点を 1 (低い)、2 (標準)、3 (高い) の 3 区分で評価	1~3
MF Point score	運動機能得点スコア	運動機能得点を 1 (低い)、2 (標準)、3 (高い) の 3 区分で評価	1~3
F/w score ^{※8}	筋力スコア	筋力を 1~7 (低い)、8~13 (標準)、14~20 (高い) の 3 区分 20 段階で評価	1~20
RFD/w score ^{※8}	素早さスコア	素早さを 1~7 (低い)、8~13 (標準)、14~20 (高い) の 3 区分 20 段階で評価	1~20
Stability score ^{※8}	安定性スコア	安定性を 1~7 (低い)、8~13 (標準)、14~20 (高い) の 3 区分 20 段階で評価	1~20
F/w until score up	筋力点数アップまで	筋力スコアを一つアップさせるために、筋力をあといくら高める必要があるかを示す	0.01 kgf/kg 単位
RFD/w until score up	素早さ点数アップまで	素早さスコアを一つアップさせるために、素早さをあといくら高める必要があるかを示す	0.1 kgf/s/kg 単位
Stability score up	安定性点数アップまで	安定性スコアを一つアップさせるために、安定性をあといくら高める必要があるかを示す	0.1 単位

Max Left Load Ratio	荷重割合(左)	立ち上がり中に、左側にどの程度の力をかけていたかを表す	0.1%単位
Max Right Load Ratio	荷重割合(右)	立ち上がり中に、右側にどの程度の力をかけていたかを表す	0.1%単位

※1 運動機能と体組成を組み合わせた総合測定時にのみ出力されます。

※2 Ver.1.7.3 以前のアプリでは「総合得点」と表示されていた項目です。

※3 運動機能単体測定時にのみ出力されます。

※4 Ver.1.7.3 以前のアプリでは「バランス」と表示されていた項目です。

※5 Ver.1.7.3 以前のアプリでは「パワー」と表示されていた項目です。

※6 Ver.1.7.3 以前のアプリでは「スピード」と表示されていた項目です。

※7 Ver.1.7.3 以前のアプリと Ver.2 以降では評価方法が異なります。Ver.1.7.3 以前で測定したデータを Ver.2 以降のアプリで出力した場合は、Ver.2 以降の評価方法で計算したスコアが出力されますのでご注意ください。

[MC ファイル] (手動エクスポート時の MCDate/MCUser フォルダ内でのファイル、自動エクスポート時の MC ファイル)
体組成に関する測定項目が出力されます。

ヘッダー名	項目名	項目の意味	出力内容
UID	ユニーク ID	新規登録時に自動で割り振られる ID	-
MODEL	体組成計品番	体組成計の品番	-
ID	メンバーID	登録されている ID	-
Status	ステータス	部位エラー(部位の脂肪率が 1.0%未満)の時に出力	エラーなし: 0 エラーあり: 1
CC	接触状態	皮膚の乾燥などの影響で、正しい測定結果が得られていない可能性があることを検知し出力	エラーなし: 0 エラーあり: 1※1
Date	体組成測定日	体組成測定を行った年月日	-
Time	体組成測定時間	体組成測定を行った時間	-
Body type	体型	登録されている体型	スタンダード: S アスリート: A
Gender	性別	登録されている性別	男性: M 女性: F
Age	年齢	登録されている年齢	1 歳単位
Height	身長	登録されている身長	0.1 cm 単位
Clothes weight	着衣量	設定した着衣量	0.1 kg 単位
Weight	体重	体組成計で測定したからだの重さ	0.1 kg 単位
Fat %	体脂肪率	体重に占める脂肪量の割合 * 脂肪量(kg)/体重(kg)	0.1%単位
Fat mass	脂肪量	体内に含まれる脂肪組織の重さ	0.1 kg 単位
Fat % score ※2	体脂肪率スコア	体脂肪率を 1~2 (やせ)、3~4 (-標準)、5~6 (+標準)、7(軽肥満)、8~9 (肥満) の 5 区分 9 段階で評価	1~9
FFM	除脂肪量	体重から脂肪の重さを除いた、脂肪以外の組織(筋肉、水分、骨など)の重さ	0.1 kg 単位
Muscle mass	筋肉量	脂肪量と推定骨量以外の組織(骨格筋、心筋、平滑筋と、これらの筋肉に含まれる水分)の重さ	0.1 kg 単位
Muscle score	筋肉量スコア	筋肉量を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の 3 区分 9 段階で評価	-4~4

Bone mass	推定骨量	骨に含まれるカルシウムなどのミネラルの重さ (骨塩量)	0.1 kg 単位
TBW	体水分量	体内に含まれる細胞外液(血液やリンパ液、間質液など)と細胞内液を合計した水分の量	0.1 kg 単位
TBW %	体水分率	体重に占める体水分量の割合 * 体水分量(kg)/体重(kg) × 100	0.1%単位
ICW ^{※3}	細胞内液量	—	空欄
ECW ^{※3}	細胞外液量	—	空欄
ECW % ^{※3}	細胞外液率	—	空欄
Protein	タンパク質量	筋肉量から体水分量を引いた重さ	0.1 kg 単位
BMI	体格指数	体重(kg)/身長(m) ²	0.1 単位
Standard body weight	標準体重	BMI が 22 の時の体重	0.1 kg 単位
Degree of obesity	肥満度	体重と標準体重の差の割合 * {体重(kg)-標準体重(kg)} / 標準体重(kg) × 100	0.1%単位
Standard fat %	標準体脂肪率	その方の性別、年代に応じた標準的な体脂肪率	1%単位
Standard muscle mass	標準筋肉量	その方の性別、年代、身長に応じた標準的な筋肉量	0.1 kg 単位
Visceral fat rating	内臓脂肪レベル	内臓脂肪(腹腔内の内臓の周囲に付く脂肪)の蓄積度合いを 1~9 (標準)、10~14 (やや過剰)、15 以上(過剰)の 3 区分で評価	1~59 レベル
Leg muscle score	脚部筋肉量点数	体重に占める脚の筋肉量の割合を理想値と比較し点数で評価	50~150 点
BMR (kcal)	基礎代謝量(kcal)	生きていくために最低限必要なエネルギー量	1 kcal 単位
BMR (kJ) ^{※3}	基礎代謝量(kJ)	—	空欄
BMR score	基礎代謝量判定	基礎代謝量の程度を 1~6(燃えにくい)、7~10(標準)、11~16(燃えやすい) の 3 区分 16 段階で評価	1~16
Metabolic Age ^{※3}	体内年齢	—	空欄
Balance(Arm)	筋肉量左右バランス(腕)	腕の筋肉量の左右バランスを -2(左腕が多い)、-1(左腕がやや多い)、0(均等)、1(右腕がやや多い)、2(右腕が多い)の 5 区分で評価	-2~2
Balance(Leg)	筋肉量左右バランス(脚)	脚の筋肉量の左右バランスを -2(左脚が多い)、-1(左脚がやや多い)、0(均等)、1(右脚がやや多い)、2(右脚が多い)の 5 区分で評価	-2~2
Athlete points	アスリート指数	体組成がプロスポーツ選手などのアスリートにどれくらい近いのかを、20~69 (スタンダード)、70~79(セミアスリート)、80~120 (アスリート)として評価	20~120
Target fat % ^{※3}	目標体脂肪率	—	0.0 固定
Predicted weight ^{※3}	予測体重	—	0.0 固定
Predicted fat mass ^{※3}	予測脂肪量	—	0.0 固定
Fat to lose / gain ^{※3}	脂肪量増減量	—	0.0 固定
RL Fat %	右脚 脂肪率	右脚の脂肪率	0.1%単位
RL Fat mass	右脚 脂肪量	右脚の脂肪量	0.1kg 単位

RL FFM	右脚 除脂肪量	右脚の除脂肪量	0.1kg 単位
RL Muscle mass	右脚 筋肉量	右脚の筋肉量	0.1kg 単位
RL Fat % score	右脚 脂肪率スコア	右脚の脂肪率を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
RL Muscle score	右脚 筋肉量スコア	右脚の筋肉量を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
LL Fat %	左脚 脂肪率	左脚の脂肪率	0.1%単位
LL Fat mass	左脚 脂肪量	左脚の脂肪量	0.1kg 単位
LL FFM	左脚 除脂肪量	左脚の除脂肪量	0.1kg 単位
LL Muscle mass	左脚 筋肉量	左脚の筋肉量	0.1kg 単位
LL Fat % score	左脚 脂肪率スコア	左脚の脂肪率を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
LL Muscle score	左脚 筋肉量スコア	左脚の筋肉量を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
RA Fat %	右腕 脂肪率	右腕の脂肪率	0.1%単位
RA Fat mass	右腕 脂肪量	右腕の脂肪量	0.1kg 単位
RA FFM	右腕 除脂肪量	右腕の除脂肪量	0.1kg 単位
RA Muscle mass	右腕 筋肉量	右腕の筋肉量	0.1kg 単位
RA Fat % score	右腕 脂肪率スコア	右腕の脂肪率を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
RA Muscle score	右腕 筋肉量スコア	右腕の筋肉量を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
LA Fat %	左腕 脂肪率	左腕の脂肪率	0.1%単位
LA Fat mass	左腕 脂肪量	左腕の脂肪量	0.1kg 単位
LA FFM	左腕 除脂肪量	左腕の除脂肪量	0.1kg 単位
LA Muscle mass	左腕 筋肉量	左腕の筋肉量	0.1kg 単位
LA Fat % score	左腕 脂肪率スコア	左腕の脂肪率を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
LA Muscle score	左腕 筋肉量スコア	左腕の筋肉量を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
Trunk Fat %	体幹 脂肪率	体幹の脂肪率	0.1%単位
Trunk Fat mass	体幹 脂肪量	体幹の脂肪量	0.1kg 単位
Trunk FFM	体幹 除脂肪量	体幹の除脂肪量	0.1kg 単位
Trunk Muscle mass	体幹 筋肉量	体幹の筋肉量	0.1kg 単位
Trunk Fat % score	体幹 脂肪率スコア	体幹の脂肪率を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
Trunk Muscle score	体幹 筋肉量スコア	体幹の筋肉量を-4~-2 (少ない)、-1~1 (標準)、2~4 (多い) の3区分9段階で評価	-4~4
FMI	脂肪量指数	脂肪量(kg)/身長(m) ²	0.01 kg/m ² 単位
FFMI	除脂肪量指数	除脂肪量(kg)/身長(m) ²	0.01 kg/m ² 単位
LMI	筋肉量指数	筋肉量(kg)/身長(m) ²	0.01 kg/m ² 単位

MM/BW	筋肉率	筋肉量(kg)/体重(kg) × 100	0.1%単位
MFR	筋肉脂肪比	筋肉量(kg)/脂肪量(kg)	0.01 単位
ASM	四肢骨格筋量	四肢(右脚+左脚+右腕+左腕)の筋肉量	0.1 kg 単位
ASM/BW	四肢骨格筋率	四肢骨格筋量(kg)/体重(kg)	0.1%単位
ASM/BMI	ASM/BMI	四肢骨格筋量(kg)/BMI	0.001 単位
AMFR	四肢筋肉脂肪比	四肢骨格筋量(kg)/(全身の)脂肪量(kg)	0.01 単位
SMI	骨格筋指数	四肢骨格筋量(kg)/身長(m) ²	0.01 kg/m ² 単位
SMI score	骨格筋指数スコア	骨格筋指数を 1~7 (低い)、8~13 (標準)、14~20 (高い) の 3 区分 20 段階で評価	1~20
SMI until score up	骨格筋指数点数アップまで	骨格筋指数スコアを一つアップさせるために、骨格筋指数をあといくら高める必要があるかを示す	0.01 kg/m ² 単位
LH-F PA ^{※4}	左半身 Phase Angle	50 kHz の電流を左半身に流した際の Phase Angle	0.01° 単位
RL PA ^{※4}	右脚 Phase Angle	50 kHz の電流を右脚に流した際の Phase Angle	0.01° 単位
LL PA ^{※4}	左脚 Phase Angle	50 kHz の電流を左脚に流した際の Phase Angle	0.01° 単位
RA PA ^{※4}	右腕 Phase Angle	50 kHz の電流を右腕に流した際の Phase Angle	0.01° 単位
LA PA ^{※4}	左腕 Phase Angle	50 kHz の電流を左腕に流した際の Phase Angle	0.01° 単位
F-F PA ^{※4}	両足間 Phase Angle	50 kHz の電流を両足間に流した際の Phase Angle	0.01° 単位
RH-F PA ^{※4}	右半身 Phase Angle	50 kHz の電流を右半身に流した際の Phase Angle	0.01° 単位
Whole Body PA ^{※4}	全身 Phase Angle	左半身と右半身の Phase Angle の平均値	0.01° 単位
Leg PA ^{※4}	両脚 Phase Angle	左脚と右脚の Phase Angle の平均値	0.01° 単位
Arm PA ^{※4}	両腕 Phase Angle	左腕と右腕の Phase Angle の平均値	0.01° 単位
LH-F PA Score	左半身 Phase Angle スコア	左半身 Phase Angle を 1~7 (低い)、8~13 (標準)、14~20 (高い) の 3 区分 20 段階で評価	1~20
RL PA Score	右脚 Phase Angle スコア	右脚 Phase Angle を -4~-2 (低い)、-1~1 (標準)、2~4 (高い) の 3 区分 9 段階で評価	-4~4
LL PA Score	左脚 Phase Angle スコア	左脚 Phase Angle を -4~-2 (低い)、-1~1 (標準)、2~4 (高い) の 3 区分 9 段階で評価	-4~4
RA PA Score	右腕 Phase Angle スコア	右腕 Phase Angle を -4~-2 (低い)、-1~1 (標準)、2~4 (高い) の 3 区分 9 段階で評価	-4~4
LA PA Score	左腕 Phase Angle スコア	左腕 Phase Angle を -4~-2 (低い)、-1~1 (標準)、2~4 (高い) の 3 区分 9 段階で評価	-4~4
F-F PA Score	両足間 Phase Angle スコア	両足間 Phase Angle を -4~-2 (低い)、-1~1 (標準)、2~4 (高い) の 3 区分 9 段階で評価	-4~4
RH-F PA Score	右半身 Phase Angle スコア	右半身 Phase Angle を 1~7 (低い)、8~13 (標準)、14~20 (高い) の 3 区分 20 段階で評価	1~20
Whole Body PA Score	全身 Phase Angle スコア	全身 Phase Angle を 1~7 (低い)、8~13 (標準)、14~20 (高い) の 3 区分 20 段階で評価	1~20
Leg PA Score	両脚 Phase Angle スコア	両脚 Phase Angle を -4~-2 (低い)、-1~1 (標準)、2~4 (高い) の 3 区分 9 段階で評価	-4~4
Arm PA Score	両腕 Phase Angle スコア	両腕 Phase Angle を -4~-2 (低い)、-1~1 (標準)、2~4 (高い) の 3 区分 9 段階で評価	-4~4

Whole Body PA until score up	全身 Phase Angle 点数アップまで	全身 Phase Angle スコアを一つアップさせるために、全身 Phase Angle をあといくらか高める必要があるかを示す	0.01° 単位
RXR ^{※4}	RX 比	50 kHz の電流を両足間に流して測定した、レジスタンスとリアクタンスの比	0.1 単位
LH-F R(1kHz) ^{※5}	左半身 レジスタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を左半身に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
LH-F X(1kHz) ^{※5}	左半身 リアクタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を左半身に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
LH-F R(5kHz)	左半身 レジスタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を左半身に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
LH-F X(5kHz)	左半身 リアクタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を左半身に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
LH-F R(6kHz) ^{※5}	左半身 レジスタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を左半身に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
LH-F X(6kHz) ^{※5}	左半身 リアクタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を左半身に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
LH-F R(50kHz)	左半身 レジスタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を左半身に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
LH-F X(50kHz)	左半身 リアクタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を左半身に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
LH-F R(250kHz)	左半身 レジスタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を左半身に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
LH-F X(250kHz)	左半身 リアクタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を左半身に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
LH-F R(500kHz) ^{※5}	左半身 レジスタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を左半身に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
LH-F X(500kHz) ^{※5}	左半身 リアクタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を左半身に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
LH-F R(1000kHz) ^{※5}	左半身 レジスタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を左半身に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
LH-F X(1000kHz) ^{※5}	左半身 リアクタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を左半身に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
RL R(1kHz) ^{※5}	右脚 レジスタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を右脚に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
RL X(1kHz) ^{※5}	右脚 リアクタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を右脚に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
RL R(5kHz)	右脚 レジスタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を右脚に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
RL X(5kHz)	右脚 リアクタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を右脚に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
RL R(6kHz) ^{※5}	右脚 レジスタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を右脚に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
RL X(6kHz) ^{※5}	右脚 リアクタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を右脚に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
RL R(50kHz)	右脚 レジスタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を右脚に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位
RL X(50kHz)	右脚 リアクタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を右脚に流して測定したリアクタンス	0.1Ω 単位
RL R(250kHz)	右脚 レジスタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を右脚に流して測定したレジスタンス	0.1Ω 単位

RL X(250kHz)	右脚 リアクタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を右脚に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
RL R(500kHz) ^{※5}	右脚 レジスタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を右脚に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
RL X(500kHz) ^{※5}	右脚 リアクタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を右脚に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
RL R(1000kHz) ^{※5}	右脚 レジスタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を右脚に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
RL X(1000kHz) ^{※5}	右脚 リアクタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を右脚に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
LL R(1kHz) ^{※5}	左脚 レジスタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を左脚に流して測定したレジスタ ンス	0.1Ω単位
LL X(1kHz) ^{※5}	左脚 リアクタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を左脚に流して測定したリアクタ ンス	0.1Ω単位
LL R(5kHz)	左脚 レジスタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を左脚に流して測定したレジスタ ンス	0.1Ω単位
LL X(5kHz)	左脚 リアクタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を左脚に流して測定したリアクタ ンス	0.1Ω単位
LL R(6kHz) ^{※5}	左脚 レジスタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を左脚に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
LL X(6kHz) ^{※5}	左脚 リアクタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を左脚に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
LL R(50kHz)	左脚 レジスタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を左脚に流して測定したレジスタ ンス	0.1Ω単位
LL X(50kHz)	左脚 リアクタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を左脚に流して測定したリアクタ ンス	0.1Ω単位
LL R(250kHz)	左脚 レジスタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を左脚に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
LL X(250kHz)	左脚 リアクタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を左脚に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
LL R(500kHz) ^{※5}	左脚 レジスタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を左脚に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
LL X(500kHz) ^{※5}	左脚 リアクタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を左脚に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
LL R(1000kHz) ^{※5}	左脚 レジスタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を左脚に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
LL X(1000kHz) ^{※5}	左脚 リアクタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を左脚に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
RA R(1kHz) ^{※5}	右腕 レジスタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を右腕に流して測定したレジスタ ンス	0.1Ω単位
RA X(1kHz) ^{※5}	右腕 リアクタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を右腕に流して測定したリアクタ ンス	0.1Ω単位
RA R(5kHz)	右腕 レジスタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を右腕に流して測定したレジスタ ンス	0.1Ω単位
RA X(5kHz)	右腕 リアクタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を右腕に流して測定したリアクタ ンス	0.1Ω単位
RA R(6kHz) ^{※5}	右腕 レジスタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を右腕に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
RA X(6kHz) ^{※5}	右腕 リアクタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を右腕に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位

RA R(50kHz)	右腕 レジスタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を右腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
RA X(50kHz)	右腕 リアクタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を右腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
RA R(250kHz)	右腕 レジスタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を右腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
RA X(250kHz)	右腕 リアクタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を右腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
RA R(500kHz) ^{※5}	右腕 レジスタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を右腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
RA X(500kHz) ^{※5}	右腕 リアクタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を右腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
RA R(1000kHz) ^{※5}	右腕 レジスタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を右腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
RA X(1000kHz) ^{※5}	右腕 リアクタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を右腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
LA R(1kHz) ^{※5}	左腕 レジスタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を左腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
LA X(1kHz) ^{※5}	左腕 リアクタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を左腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
LA R(5kHz)	左腕 レジスタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を左腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
LA X(5kHz)	左腕 リアクタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を左腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
LA R(6kHz) ^{※5}	左腕 レジスタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を左腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
LA X(6kHz) ^{※5}	左腕 リアクタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を左腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
LA R(50kHz)	左腕 レジスタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を左腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
LA X(50kHz)	左腕 リアクタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を左腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
LA R(250kHz)	左腕 レジスタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を左腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
LA X(250kHz)	左腕 リアクタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を左腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
LA R(500kHz) ^{※5}	左腕 レジスタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を左腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
LA X(500kHz) ^{※5}	左腕 リアクタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を左腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
LA R(1000kHz) ^{※5}	左腕 レジスタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を左腕に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
LA X(1000kHz) ^{※5}	左腕 リアクタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を左腕に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
F-F R(1kHz) ^{※5}	両足間 レジスタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を両足間に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位
F-F X(1kHz) ^{※5}	両足間 リアクタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を両足間に流して測定したリアクタンス	0.1Ω単位
F-F R(5kHz)	両足間 レジスタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を両足間に流して測定したレジスタンス	0.1Ω単位

F-F X(5kHz)	両足間 リアクタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を両足間に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
F-F R(6kHz) ^{※5}	両足間 レジスタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を両足間に流して測定したレジ スタンス	0.1Ω単位
F-F X(6kHz) ^{※5}	両足間 リアクタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を両足間に流して測定したリア クタンス	0.1Ω単位
F-F R(50kHz)	両足間 レジスタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を両足間に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
F-F X(50kHz)	両足間 リアクタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を両足間に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
F-F R(250kHz)	両足間 レジスタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を両足間に流して測定したレジ スタンス	0.1Ω単位
F-F X(250kHz)	両足間 リアクタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を両足間に流して測定したリア クタンス	0.1Ω単位
F-F R(500kHz) ^{※5}	両足間 レジスタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を両足間に流して測定したレジ スタンス	0.1Ω単位
F-F X(500kHz) ^{※5}	両足間 リアクタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を両足間に流して測定したリア クタンス	0.1Ω単位
F-F R(1000kHz) ^{※5}	両足間 レジスタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を両足間に流して測定したレジ スタンス	0.1Ω単位
F-F X(1000kHz) ^{※5}	両足間 リアクタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を両足間に流して測定したリア クタンス	0.1Ω単位
RH-F R(1kHz) ^{※5}	右半身 レジスタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を右半身に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
RH-F X(1kHz) ^{※5}	右半身 リアクタンス (1 kHz)	1 kHz の電流を右半身に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
RH-F R(5kHz)	右半身 レジスタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を右半身に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
RH-F X(5kHz)	右半身 リアクタンス (5 kHz)	5 kHz の電流を右半身に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
RH-F R(6kHz) ^{※5}	右半身 レジスタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を右半身に流して測定したレジ スタンス	0.1Ω単位
RH-F X(6kHz) ^{※5}	右半身 リアクタンス (6.25 kHz)	6.25 kHz の電流を右半身に流して測定したリア クタンス	0.1Ω単位
RH-F R(50kHz)	右半身 レジスタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を右半身に流して測定したレジス タンス	0.1Ω単位
RH-F X(50kHz)	右半身 リアクタンス (50 kHz)	50 kHz の電流を右半身に流して測定したリアク タンス	0.1Ω単位
RH-F R(250kHz)	右半身 レジスタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を右半身に流して測定したレジ スタンス	0.1Ω単位
RH-F X(250kHz)	右半身 リアクタンス (250 kHz)	250 kHz の電流を右半身に流して測定したリア クタンス	0.1Ω単位
RH-F R(500kHz) ^{※5}	右半身 レジスタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を右半身に流して測定したレジ スタンス	0.1Ω単位
RH-F X(500kHz) ^{※5}	右半身 リアクタンス (500 kHz)	500 kHz の電流を右半身に流して測定したリア クタンス	0.1Ω単位
RH-F R(1000kHz) ^{※5}	右半身 レジスタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を右半身に流して測定したレジ スタンス	0.1Ω単位
RH-F X(1000kHz) ^{※5}	右半身 リアクタンス (1000 kHz)	1000 kHz の電流を右半身に流して測定したリア クタンス	0.1Ω単位

※1 各測定経路の出力フォーマットは以下の通りです。複数の箇所異常がある場合はこれらの組み合わせで出力され、例えば右半身と右脚に異常があった場合は「0000000010100000」となります。

0000000010000000 : 右半身の接触異常あり
 000000000010000000 : 左半身の接触異常あり
 000000000001000000 : 右脚の接触異常あり
 000000000000100000 : 左脚の接触異常あり
 000000000000010000 : 右腕の接触異常あり
 000000000000001000 : 左腕の接触異常あり
 000000000000000100 : 両足間の接触異常あり
 000000000000000010 : 両足間の接触異常あり
 000000000000000000 : 異常なし

※2 Ver.1.7.3 以前のアプリと Ver.2 以降では評価方法が異なります。Ver.1.7.3 以前で測定したデータを Ver.2 以降のアプリで出力した場合は、Ver.2 以降の評価方法で計算したスコアが出力されますのでご注意ください。

※3 日本向け仕様では、空欄が 0.0 と出力されます(他国向け仕様との互換性を保つためのものです)。

※4 通常リアクタンスは負の値になるため Phase Angle と RX 比も負の値となりますが、慣例的に絶対値で表示されるため、本アプリでも絶対値で出力されます。

※5 そのインピーダンスを測定していない機種では 0.0 と出力されます。

[Both ファイル]

運動機能と体組成を組み合わせた総合測定時に「自動出力する」の設定になっている場合には、LF ファイルと MC ファイルの内容が一つのファイルになって出力されます。

[UserInfo ファイル]

登録されているメンバー情報が出力されます。

ヘッダー	項目名	項目の意味	出力内容
UID	ユニーク ID	新規登録時に自動で割り振られる ID	-
Visible	メンバーの状態	利用可能なメンバーか、削除されたメンバーかを表す	利用可能 : True 削除済 : False
MemberID	ID	登録されている ID	-
Name	氏名	登録されている氏名	-
Gender	性別	登録されている性別	男性 : M 女性 : F
Birthday	生年月日	登録されている生年月日	yyyy/MM/dd
Height	身長	登録されている身長	90.0~249.9 cm
BodyType	体型	登録されている体型	スタンダード : S アスリート : A
IDM	-	-	-